

2022年度(令和4年度) 福山市子ども議会 報告・感想文集



2022 年度（令和 4 年度）福山市子ども議会 報告・感想文集

目次

○開催報告

実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

子ども議員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

本会議までのあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・P3

本会議の様子・・・・・・・・・・・・・・・・P5

質問・提案と答弁・・・・・・・・・・・・・・・・P8

福山市子ども議会宣言・・・・・・・・・・・・・・・・P13

子ども議会通信・・・・・・・・・・・・・・・・P14

○感想文集・・・・・・・・・・・・・・・・P20

○関係者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P38

○あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・P39

2022年度（令和4年度）「福山市子ども議会」実施要項

1 目的

市政の現状や課題を調べ、それぞれの視点でまちづくりのための新たな施策を提案することで、地域や社会に関心を深め、主体性、及び福山への愛着と誇りを持てる子どもを育成する。

2 主催 福山市、福山市教育委員会

3 対象者 福山市に住所を有する、または市内の小・中学校に在籍する小学5・6年生、中学生、30名

- ※応募条件 ・「事前学習会」に参加できること。
- ・保護者の承諾が得られること。

4 「本会議」開催日・場所

2022年（令和4年）10月23日（日） 福山市議会「議場」

5 応募方法

自分が考える“理想の福山市”にするためのアイデアを2つ、所定の応募用紙に記入し、期限までに事務局へ持参または郵送してください。

- ・応募期間 2022年（令和4年）5月1日（日）～6月7日（火）※当日消印有効
- ・応募用紙は、福山市のホームページからダウンロードできます。

6 決定

6月中旬に応募者全員に通知します。（応募者多数の場合は、選考を行います。）

7 事務局・問い合わせ先

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課
住所：〒720-0831 福山市草戸町五丁目12番3号
電話：084-928-1046

8 本会議までの日程

開催日	場所	項目	内容
7月9日(土)(午後)	まなびの館 ローズコム	認定書交付式 第1回事前学習会	認定書交付式 市政の学習とテーマ決め
8月2日(火)(午後)	まなびの館 ローズコム	第2回事前学習会	「質問・提案書」の作成
8月10日(水)(午後)	まなびの館 ローズコム	第3回事前学習会	「質問・提案書」の作成
8月17日(水)(午後)	まなびの館 ローズコム	第4回事前学習会	「質問・提案書」の作成
9月17日(土)(午後)	まなびの館 ローズコム	特別講座	ゲストをお呼びして 福山のものづくりを学ぶ
10月23日(日)(午前)	議場	リハーサル	リハーサル, 準備, 打合せ
10月23日(日)(午後)		本会議	「質問・提案書」の発表

※ 内容については変更となる場合があります。

9 その他

- ・参加に要する交通費等は、自己負担とします。
- ・活動中の事故等については、「福山市市民活動総合補償制度」を適用します。
- ・活動中の様子は、広報ふくやまやホームページ等に掲載することがあります。
- ・応募者全員へまちづくりパスポート25ポイントを交付します。
- ・子ども議員に採用された場合、出席日数に応じたまちづくりパスポートと、図書カード2,000円分をプレゼントします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況によっては、内容やスケジュールを変更する場合があります。

2022年度（令和4年度）福山市子ども議会 委員名簿

委員会名	委員名	発言要旨
学習端末の使い方委員会	兼田 あかり	「みんなが気持ちよく学習端末を使うための取組」について
	湯浅 瑛太	
	岡本 育万	
	藤井 雄大	
	山本 神楽	
安心・安全なまちづくり委員会	石田 彩寧	「帰ってきたくなるような福山市」について
	岡川 莉央	
	山本 光志朗	
	小池 和奏	
	檀田 善海	
ごみ削減で地球に優しく委員会	坂田 葵衣	「生き物がすみやすい福山市にするためにポイ捨てを減らす取組」について
	本山 穂乃花	
	桑田 直希	
	岡川 栞奈	
	佐藤 夢希	
	中田 絢乃	
	藤井 咲衣	
	山川 寿都	
笑顔と希望があふれるまちづくり委員会	馬場 光希	「福山市のまちづくり」について
	筒井 るりか	
	西村 梨央	
	湯谷 聡太	
	尾熊 直子	
	高橋 愛	
福山知名度 No.1 になっちゃうーや委員会	星山 葉月	「国内外の観光客を増やす取組」について
	本多 春翔	
	永戸 あみ	
	新田 暁	
	黒田 倅奈	
	平松 紗英	

本会議までのあゆみ

1 認定書交付式，第1回事前学習会

日時：7月9日（土） 13時30分～16時30分

会場：まなびの館「ローズコム」 大会議室

○認定書交付

枝広市長より，子ども議員の代表者に認定書が交付されました。

「福山の代表として勇気を持って発言し，しっかりと議論をして，福山の良さを引き出せるような提案をしてほしい。」とエールが送られました。

○市政についての学習：企画政策課

福山市がこれまでやってきた取組や変わってきたこと，今後の福山市のビジョンなどを説明してくださいました。今まで知らなかった福山市の一面を学び，質問書をつくるヒントになりました。

○議長・副議長選挙

子ども議会本会議を進行する議長・副議長選挙を行いました。

立候補者は4人で，「どんな子ども議会にしていきたいか」等を1分程度演説を行った後，子ども議員による投票を行いました。

選挙の結果，議長は盈進中学校3年生の星山葉月さん，副議長は広島大学附属福山中学校3年生の馬場光希さんとなり，当選後は，みんなの前でそれぞれ決意を述べました。

○委員会での活動

委員会ごとに分かれ自己紹介を行い，子ども議員に応募した時に書いた「理想の福山市」を発表する中で，どんな内容の質問や提案にするかを考えました。また，次回の事前学習会からは，各委員会で決めたテーマに関連する部署の職員が来るため，事前にどんなことを質問したいかをまとめました。



2 第2回事前学習会

日時：8月2日（火）13時30分～16時30分

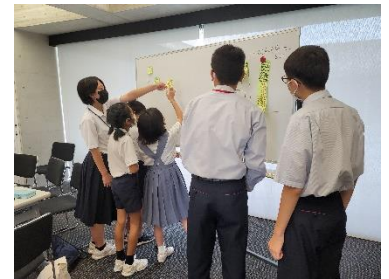
会場：まなびの館「ローズコム」 中会議室

○テーマについての学習・意見交換

それぞれのテーマに関連する部署の職員の方に来ていただき、各委員会の「テーマについて担当課に聞きたいこと」を始めとする子ども議員からの質問について、担当課の人に答えていただきました。

また、現在行っている取組についてもお話を聞きました。

その後、「より良い福山市にするためにはどんなことが必要か」について、みんなで考えていきました。



3 第3回事前学習会

日時：8月10日（水）13時30分～16時30分

会場：まなびの館「ローズコム」 中会議室

4 第4回事前学習会

日時：8月17日（水）13時30分～16時30分

会場：まなびの館「ローズコム」 大会議室

○質問・提案書の作成

10月の本会議に向け「質問・提案書の作成」と「フリップの作成」を進めていきました。

各委員会、「どうすれば市役所の人たちに、自分たちの提案が伝わるだろうか」と悩みながらも、「質問書を書く人」、「データを調べる人」、「フリップを作る人」など、各委員会の中で役割分担をし、協力しながら質問書を完成させました。



5 特別講座

日時：9月17日（土）13時30分～15時30分

高校生会議と合同で、ものづくりの素晴らしさなどについて学び、福山の魅力を再認識してもらうことを目的に、「日東製網株式会社」の方を講師としてお招きし、特別講座を開催しました。



6 本会議当日

日時：10月23日（日）9時00分～12時00分

会場：福山市議会 議場

○リハーサル

本会議当日の午前中にリハーサルを行いました。

なかなか入ることのできない議場という場所に緊張しつつ、午後からの本会議に向けて流れや動きを確認しました。



2022年度（令和4年度）福山市子ども議会 本会議

1 日 時 2022年（令和4年）10月23日（日）13:30～15:30

2 場 所 福山市議会棟4階 議場

- 3 本会議
- (1) 子ども議員紹介
 - (2) 理事者紹介
 - (3) 市長あいさつ
 - (4) 市議会議長あいさつ
 - (5) 開会宣告
 - (6) 議事（代表質問）
 - (7) 子ども議会宣言
 - (8) 子ども議会議長あいさつ
 - (9) 閉会宣告



- 4 解散式
- (1) 教育長あいさつ（講評）
 - (2) 記念品贈呈
 - (3) 子ども議会副議長あいさつ
 - (4) 記念撮影

本会議

市長を始めとする理事者が議場に招集され、議長の開会宣言で子ども議会本会議が開会しました。議長と副議長による議事進行の元、委員会ごとに事前学習会でまとめた質問・提案を行い、市長や教育長からの答弁をいただきました。

子ども議員は、理事者や大勢の傍聴者を前に緊張していましたが、リハーサルで練習した通り大きな声で堂々と発言できました。

【子ども議員紹介】



【市長あいさつ】



【市議会議長あいさつ】



【議事進行（議長，副議長）】



【学習端末の使い方委員会】



【安心・安全なまちづくり委員会】



【ごみ削減で地球に優しく委員会】



【笑顔と希望があふれるまちづくり委員会】



【福山知名度 No.1 になっちゃろーや委員会】



【答弁（市長）】



【答弁（教育長）】



議事が終了し、子ども議会宣言策定委員の2人が子ども議会宣言を行った後、子ども議会議長のあいさつで本会議が終了しました。

【子ども議会宣言】



【子ども議会議長あいさつ】



解散式

本会議終了後、子ども議員の解散式を行い、教育長から本会議の講評がありました。市長からの記念品贈呈では、子ども議員を代表して子ども議会議長が記念品を受け取りました。そして、子ども議会副議長があいさつした後、記念撮影を行い、2022年度（令和4年度）福山市子ども議会の全日程が終了しました。

【教育長講評】



【記念品贈呈】



【副議長あいさつ】



【記念撮影】





【学習端末の使い方委員会】

「みんなが気持ちよく学習端末を使うための取組」について

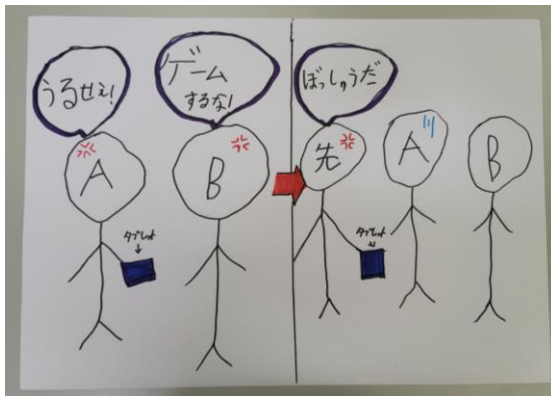
2021年度から、全公立小中学校及び義務教育学校の児童生徒に学習端末が配付され、より学習を深めることができるようになりました。しかし、児童生徒の中には、学習端末を授業と関係ないことに使用するなど間違った使い方をする人がいます。

そこで、みんなが学習端末を学習用具として正しく使用するために、どんなことが必要かを話し合いました。

自分達で正しく学習端末を使えるようになるための提案

- ① 学習端末の使い方を児童生徒で話し合っ決めて決めることについて

【学習端末の使い方委員会】質問・提案の資料



教育長からの答弁

①について、本市では、「デジタル・シティズンシップ」（使う側が責任を持ち、自分で行動の善悪を判断し、安全にデジタル機器を使用できるようになること）の考え方に基づいて、児童生徒の皆さんが必要だと思う時に、文房具として使えるようになることを目指しています。

各学校では、基本的なルールをもとに、児童・生徒の皆さんが、先生や友達と一緒に使い方を確認したり、ルールを守らなかった時の影響などを話し合ったりしてきています。

しかしながら、授業と関係ないことに端末を使用したり、人を傷つける言葉を書き込んだりしている報告もあり、教育委員会で使用を止めるなどの対応をしたこともあります。

今回、皆さんが提案された「学習端末を使う中で起こった問題を解決するために、話し合えるような劇やクイズを行うこと」は、まさに「デジタル・シティズンシップ」の目指すところであり、本当に素晴らしいです。是非、自分の学校で実践してください。そして、皆さんの実践を、すべての学校に伝えていきたいと思ひます。

【安心・安全なまちづくり委員会】

「帰ってきたくなるような福山市」について



このテーマ（帰ってきたくなるような福山市）に決めた理由は、「安心・安全なまちづくり」について話し合う中で、幅広い世代が安心・安全に暮らせる福山市になれば、「ずっと福山市に住みたい」、またはもし市外に出ても、「また戻って来たい」と思ってもらえるのではないかと考えたからです。

子どもたちの安全は、お母さんやお父さんなどの周りの大人たちの安心にも繋がることから、子どもたちが安心・安全に暮らせるために、どんなことが必要か考えました。

子ども達が安心・安全に登下校・遊んだりするための取組の提案

- ① 夕方夜間の見守りパトロールについて
- ② 中心地以外の防犯カメラの増設について

【安心・安全なまちづくり委員会】 質問・提案の資料



市長からの答弁

①について、各地域で、町内会の方々や学校の保護者など、様々な人により登下校時や夕方、夜間に防犯パトロールが行われています。本市においても、小学校区ごとに「生活安全モデル地域」を指定し、地域の住民の方に防犯活動の大切さをお伝えするとともに、防犯パトロールなどの体制の充実をお願いしています。ご提案いただいた、習い事に行く時間（16時～18時）の見守り・パトロールについては、地域のボランティアの皆さんと協力しながら、出来るだけそうした時間帯にも実施出来るよう努めていきたいと思えます。

②について、防犯カメラの設置は警察や町内会の方と相談し、どこに設置するかを決めています。今後の防犯カメラ設置の際には、警察や町内会の方々に、公園や通学路への防犯カメラ設置についても、しっかり相談をしていきたいと思えます。

犯罪に巻き込まれないためには、「自分の安全は自分で守る」という意識がとても大切です。安全・安心アプリの活用など、自分の身を守る行動をとっていただきたいと思います。そして皆さんが大人になったら地域の子もや高齢者の方の見守り活動を積極的にしていただきたいと思います。

これからも安心安全のための取組について一緒に考えていきましょう。

【ごみ削減で地球に優しく委員会】



「生き物がすみやすい福山市にするためにポイ捨てを減らす取組」について

福山市にすむ生き物が、どうすれば今よりもすみやすくなるのか話し合う中で、「ごみを捨てないように整備された環境」、「物を買すぎないなどの3Rの徹底」、「人それぞれが環境について考える」などの意見がありました。

その中で、ごみのポイ捨てが生き物の生息環境に影響を与え、生き物がすみにくくなっていることから、ごみをポイ捨てさせない環境づくりをすることで、この目的が達成できるのではないかと考えました。

ポイ捨てを減らすための取組の提案

- ① 幼稚園児や小学校低学年を対象とした体験型イベントについて
- ② 幅広い年代を対象とした河川敷の清掃イベントについて

【ごみ削減で地球に優しく委員会】 質問・提案の資料



市長からの答弁

①について、「低年齢層を対象とした体験型イベント」のひとつとして、小学生や地域の皆さんが参加する体験型の「水生生物調査」という「環境出前講座」を開催しています。水生生物を採取する時には、川へ流れついたごみを参加者と一緒に拾い、川に親しみを持ちながら、守っていく行動のきっかけづくりにしたいと考えています。その他にも、福山市リサイクルプラザでは、夏休みに「海の生き物展」を開催し、実際に海の生き物に触れることで、小さな子どもも楽しみながら、海の環境について学んでいただきました。

②について、6月の芦田川一斉清掃に加え、市内の海岸や福山駅周辺等でも市民や企業の人と一緒に、清掃活動に取り組んでいます。

今後も、体験型・清掃イベントを開催する時は、小学校などへ参加をお願いする他、ホームページやSNSを通じて、情報を更に発信していきます。

福山市に暮らす市民や生き物が、今よりもっとすみやすくなるように、市のイベントや清掃活動などに積極的に参加していただき、ごみを「ポイ捨てしない・させない環境づくり」に向け、一緒に取り組んでいきたいと思っております。そして、「きれいな福山のまち」をみんなで未来に繋いでいきましょう。

【笑顔と希望があふれるまちづくり委員会】



「福山市のまちづくり」について

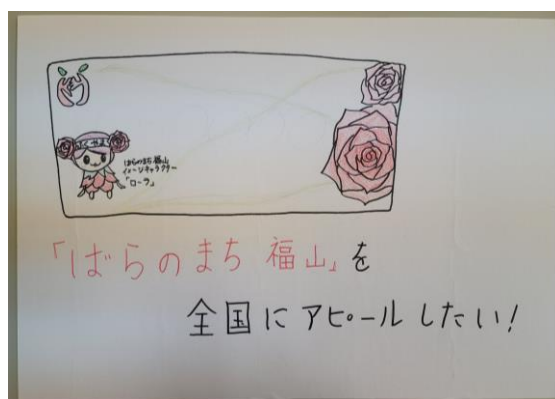
私たちが住んでいる福山市が、今よりもっと「子どもからお年寄りまで、みんなの笑顔があふれるまち」、「みんなが楽しくお互いのことを思って過ごせるまち」となるために、どんなことが必要かを話し合いました。

その話し合いの中で、それぞれが思う「理想の福山市」について意見を出し合いました。

福山市のまちづくりについての質問

- ① 福山市の「まちづくり」のための取組について

【笑顔と希望があふれるまちづくり委員会】 質問・提案の資料



市長からの答弁

①について、本市では各地域の「まちづくり推進委員会」が、住民が安心・安全に過ごせるよう、登下校の見守り活動や、学区民運動会、敬老会、子育て相談、高齢者の居場所づくりなどの福祉活動、地域花壇の整備や清掃活動、そして防災活動など様々な活動を行っています。

人口減少社会でも、こうした取組が今後も続けていけるよう、その地域に住む人が集まって、自分達の住んでいる所の良いところや悪いところなどを話し合い、みんなでアイデアを出していこうといった動きが出始めており、これをきっかけに、これまで顔を合わせる機会が少なかった人同士の繋がりが出来つつあります。

ある地域では、若い人が中心となって活動するグループが、高齢となった役員の負担を減らそうと取組を進めています。また、小学生・中学生も参加する地域もあります。

皆さんも、是非まちづくりの活動に参加して、気付いたことや困っていることがあれば、家族や地域の人たちと、どうすれば解決できるか話し合ってほしいと思います。

今回皆さんからご提案いただいた、「児童館」や「ばら柄のナンバープレート」、「福山ドーム」等の様々な提案から、皆さんの福山市全体や自分たちの住んでいる地域がもっと良くなるためにはどうしたらよいか、そんな気持ちが沢山伝わってきました。頑張っ
て考えていきたいと思っています。一緒に、笑顔と希望が溢れる福山市を創っていきましょ
う。

【福山知名度No. 1になっちゃろーや委員会】



「国内外の観光客を増やす取組」について

多くの観光客で賑わう福山市にするために、どうすればよいか話し合いました。

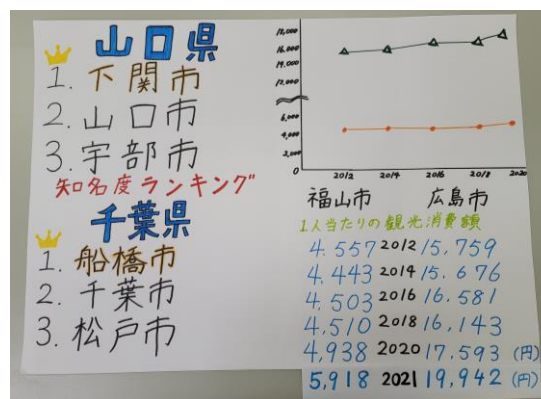
話し合いの中で、「福山市には、ばらや福山城など魅力的なものがあるのに、それらの多くは知られてなくて、もったいない。」という意見が出ました。

福山市が観光客で賑わい、愛されるまちとなるよう、多くの人に福山市の良い所や、美味しいものを知ってもらうためには、どんなことが必要かを考えました。

福山の良い所を多くの人に知ってもらうための取組の提案

- ① 福山とばらを発信・発見するためのSNSの活用、映えスポットの設置について

【福山知名度No. 1になっちゃろーや委員会】 質問・提案の資料



市長からの答弁

①について、多くの観光客に来ていただくためには、本市の良いところや美味しいものを積極的にPRしていくことが大切だと考えています。本市は今年、福山城築城400年の記念の年を迎え、今年2月にはアメリカのハリウッド映画である「ザ・バットマン」の舞台「ゴッサムシティ」と友好都市提携を結んだことが話題となりました。そうした情報発信の取組を通して、首都圏における福山市の知名度が少しずつ上がってきています。

観光客一人当たりの消費額を増やすためには、福山の「夜」を魅力的にする必要があることから、新たな福山の夜の観光の魅力として、世界的な照明デザイナーによる福山城のライトアップを実施しています。更に12月からは、光のイベントも始まり、宿泊客の増加にも繋がると考えています。また、本市の特産品を使ったメニューをつくり、福山の「福」とおつまみを掛け合わせた「福つまみ」として、食の魅力発信も行っています。

今回、ご提案いただいた「ばらを活用した映えスポット案」については、2025年（令和7年）の世界バラ会議福山大会のPRにも繋がる、とても良いアイデアだと思います。来年度のばら祭までには、是非皆さんのご意見もいただきながら、ばらの映えスポットを実現したいと考えています。

「子ども議会宣言」

私たち子ども議員は、福山市の全小中学生を代表して
福山のよりよい未来をめざすため、次のことを宣言します。

私たちは、

学校から児童・生徒が主体的に取り組むことが出来るまちを、

安心・安全に暮らせる平和なまちを、

環境問題へ対策を行い、自然が沢山のまちを、

誰もが暮らしたくなる市民の笑顔・希望があふれるまちを、

そして、魅力がいっぱいで観光客がにぎわうまちをめざします。

長い歴史をもった福山市で暮らしている私たちは、

これまでの歴史を学び、人々の思いを知り、

未来の福山のために、私たちにできることを考え、

福山のさらなる発展に向けて、精一杯努力をします。

2022年（令和4年）10月23日

福山市子ども議会子ども議員

黒田 倅奈

平松 紗英

ふくやま 子ども議会通信

2022年度 第1号



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第1号 広報委員 本山 穂乃花 ・ 藤井 咲衣



7月9日（土）認定書交付式

今年度は、小学生18人、中学生12人の計30人を、子ども議員として認定しました。子ども議員を代表し、石田彩寧さん（城南中学校）に、福山市長より認定書の交付を行いました。



●初めての子ども議会でドキドキしました。小学校5年～高校3年生と、幅広い年代の人達が集まっていて、不安だったけど、議長を決める時に、皆さんがハキハキとすらすらと喋っていて、「いろいろな人と仲良くしたい」と言っていて、緊張が少しほぐれたかなと思います。（本山）

●認定書交付式に行けて良かったです。初めての認定書交付式で緊張したけど、楽しかったし、子ども議員になれて、嬉しかったです。（藤井）



第1回事前学習会



①市政についての学習

福山市企画政策課の横山さん、大元さんをお招きし、「福山市のまちづくり」について、お話を聞きました。

②議長選挙

中学生の子ども議員から、4名の立候補がありました。選挙の結果、議長に星山葉月さん（盈進中学校）、副議長に馬場洸希さん（広島大学附属福山中学校）が決定しました。

③委員会活動（テーマ決め・質問シートの作成）

応募時にいただいた「理想の福山市」が似ている人で、委員会に分かれ、テーマ決めや質問シートの作成を行いました。



●環境の委員会に入って、同じ委員会の人達と、福山市の環境をよくしていけるように、たくさん意見を出し合ってテーマや質問内容を決めました。これから数少ない事前学習会を楽しみにしながら、より良い福山にしていけるように頑張りたいです。（本山）

●テーマ決めでは、グループの人達と意見を出し合って、テーマを決めました。次回は、担当課の方が来られて、話をするので楽しみにしています。（藤井）



ついに子ども議員としての活動が始まりました。認定書交付式では、厳粛な雰囲気の中で、緊張した様子でしたが、その後の事前学習会では、緊張が少しほぐれたのか、積極的に意見を出す子ども議員の姿が多く見られました。これから10月の本会議に向けて、みんなで協力し合い、楽しみながら頑張っていきましょう！（戸田）

ふくやま 子ども議会通信

2022年度 第2号



8月2日(火) 第2回事前学習会

第2回事前学習会では、「テーマについて担当課に聞きたいこと」を始めとする子ども議員からの質問について、担当課の人に答えていただきました。また、現在行っている取組についてもお話を聞きました。

その後、「より良い福山市にするためにはどんなことが必要か」について、みんなで考えていきました。

●各委員会のテーマ等（※第2回事前学習会時点のもの）

委員会	テーマ	担当課
第1委員会	みんなが気持ちよく学習用端末を使うために	学びづくり課
第2委員会	帰って来たくなるような福山市	市民生活課, 道路整備課
第3委員会	ゴミ削減で地球に優しく	環境総務課
第4委員会	笑顔・希望溢れるまちづくり	まちづくり推進課
第5委員会	国内外の観光客を増やす取組	経済総務課, 観光課

5つの委員会に分かれての勉強会となりました。

担当課の方が来られて、それぞれのグループに入り、アドバイスをして下さいました。

自分達の案を出し合いテーマを考えました。そして、担当課の方の話を聞きました。テーマについて深く考え、福山の魅力を伝えるために、色々と意見を出し合いました。

これからみんなで協力して議会当日までに福山の魅力が伝わる質問・提案書を作っていきます。(新田)



今回は、それぞれの班ごとのテーマに沿って、担当課の方々に、僕たちの質問に回答していただきました。

僕たちでは分からないことをたくさん教えてください、さらには、質問・提案書の大まかな内容まで手伝って下さいました。

今回はあまり意見を出すことが出来なかったのですが、次からは積極的に話に参加していきたいです。(山本)



ふくやま 子ども議会通信

2022年度 第3号



8月10日（水）第3回事前学習会

第3回事前学習会では、10月の本会議に向けた「質問・提案書の作成」を進めていきました。子ども議員は、「どうすれば市役所の人たちに、自分たちの提案が伝わるだろうか」と悩みながらも、各委員会、一生懸命活動していました。

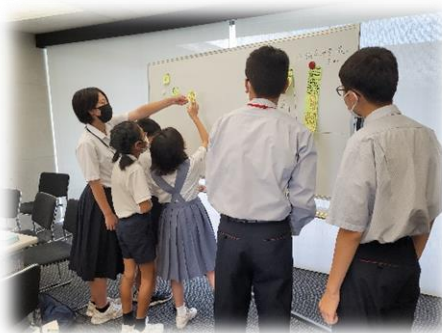
早いもので、いよいよ次回で最後の事前学習会となりました。

よりよい提案が出来るよう、ラストスパート、みんなで頑張っていきましょう。

「ゴミを捨てない環境づくり」のための提案として各自の考えを発表し、提案の方向性を決めました。

そして、担当課の方から学習した内容を参考に、次回より質問・提案書を作成していきます。

学習会に参加して福山市の環境問題への取組について学ぶことができ、また福山市のよりよい環境について真剣に考えることができました。（中田）



第3回事前学習会では、主に質問。提案書の作成を行いました。初めは、どのように書けばいいかわかりませんでしたが、応募用紙の意見や第1回、第2回の学習会の内容を参考にすることができました。

私たちの話している内容が、聞き手に理解してもらいやすいよう、第4回学習会などで、具体的に詳しくしていきたいと思いました。

（西村）



ふくやま 子ども議会通信

2022年度 第4号



8月17日（水）第4回事前学習会

第4回事前学習会では、引き続き10月の本会議に向け「質問・提案書の作成」と「フリップの作成」を進めていきました。

各委員会、「質問書を書く人」、「データを調べる人」、「フリップを作る人」など、役割分担をしながら作業を進め、多くの委員会の質問書が、この学習会で完成しました。今回の学習会で、質問書が完成とならなかった委員会については、8月24日（予備日）にも活動し、無事すべての委員会の質問書が完成しました。

子ども議員のみんなには、質問書完成にあたり、多くのフォローをしてくれた高校生サポーター等関係者への感謝の気持ちを忘れず、これまでの学習の成果をしっかりと発揮出来るよう、本会議での発表に臨んでもらいたいです。

今日は最後の事前学習会で、質問原稿を考えました。

間に合うか、途中心配になりましたが、グループの人と協力し、文章が完成しました。まだ直すところがあるので、本会議の時に私たちの気持ちが伝わるように、文章の構成を考えていきたいです。

フリップの作成では、文章に合った絵で分かりやすくアドバイスしながらすることが出来ました。今日の学習会では、担当課の方に教わりながら作り、知識を身に付けることが出来て良かったです。

これからもグループのみんなと協力していきたいです。（岡川）

今回は、それぞれの班のテーマに沿って、提案書を作っていました。

担当課の人や、自分たちで考えたことを、アドバイスも貰いながら、提案書を作りました。今の福山より、もっと良い福山にするためにどうすればいいのか、「こんなことが良いんじゃない？」などと、色々な良い意見が詰まった提案書が出来上がりました。

この提案書で、福山市がより良くなると思うので、そのためにも、本会議の時には、自分たちの意見がしっかり伝わるように、噛まずに言いたいです。（岡本）



ふくやま 子ども議会通信

2022年度 第5号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課
TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp
第5号 広報委員 桑田 直希 ・ 佐藤 夢希

9月17日(土) 特別講座

高校生会議と合同で、特別講座を開催しました。この特別講座は、次代を担う子どもたちが、ものづくり企業の現場で働いている人からお話を聞き、ものづくりの素晴らしさなどについて学び、福山の魅力を再認識してもらうことを目的として実施しています。

今年度は、「オンリーワン・ナンバーワン企業」から「日東製網株式会社」の方に講師としてお越しいただき、「どんな仕事をしているのか」などのお話をいただきました。

講座の中で、網は漁業だけでなく、公園の遊具や宇宙ゴミ対策など、色々なところで活用されており、どんなことに使うかによって形を変えて、安全に使用できるよう工夫されているというお話がありました。

今回の講座を通して、「ものづくり」の面白さはもちろん、私たちの毎日の安心は、日東製網株式会社を始めとする、ものづくり企業の皆さんの、たゆまぬ努力によって支えられていることを学べたのではないのでしょうか。



日東製網という会社のことは、何も知りませんでした。

学習会を通じて、私たちが食べている魚には、日東製網さんや、漁師さんの心がこもっていると感じました。

いま、日本では魚を食べる量が減っていると習いましたが、これから日東製網さんや漁師さんに感謝の気持ちを持って魚をたくさん食べたいです。 (桑田)

私は、日東製網さんに会う前までは、「水産業界」と言えば、日本は魚が沢山捕れていると思っていました。ですが、日本は逆に元気がないということを知りました。世界の「水産業界」は、元気があるということも教えてもらいました。折れ線グラフを見せたら、日本は山の様な形になっていて、海外のも見ると上り坂になっていました。福山市が世界で初めて無結節網を製造したということも知りました。

創業112年ということにびっくりしました。CMで「『日東製網』って何だろう?」と思っていたから良かったです。 (佐藤)

ふくやま 子ども議会通信

2022年度 第6号

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課
TEL (084)928-1046 FAX (084)927-9121
https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp
第6号 広報委員 尾熊 直子 ・ 高橋 愛

10月23日(日) 本会議

ついに本会議を迎えました。
午前中のリハーサルでは、広い議場の雰囲気緊張の様子でしたが、本番前には元気な声で声出しを行い、本会議への気合は十分。大勢の傍聴者が見守る中、市長・教育長を始めとする理事者に向けて、各委員会で話し合いを重ねながらまとめた質問・提案を堂々と発表しました。
議事終了後、黒田議員・平松議員から「子ども議会宣言」が行われ、最後に星山議長から挨拶をいただきました。閉会しました。

委員会名	質問・提案事項	答弁者
学習端末の使い方委員会	「みんなが気持ちよく学習端末を使うための取組」について	教育長
安心・安全なまちづくり委員会	「帰ってきたくなるような福山市」について	市長
ごみ削減で地球に優しく委員会	「生き物がすみやすい福山市にするためにポイ捨てを減らす取組」について	市長
笑顔と希望があふれるまちづくり委員会	「福山市のまちづくり」について	市長
福山知名度No.1になっちゃろーや委員会	「国内外の観光客を増やす取組」について	市長

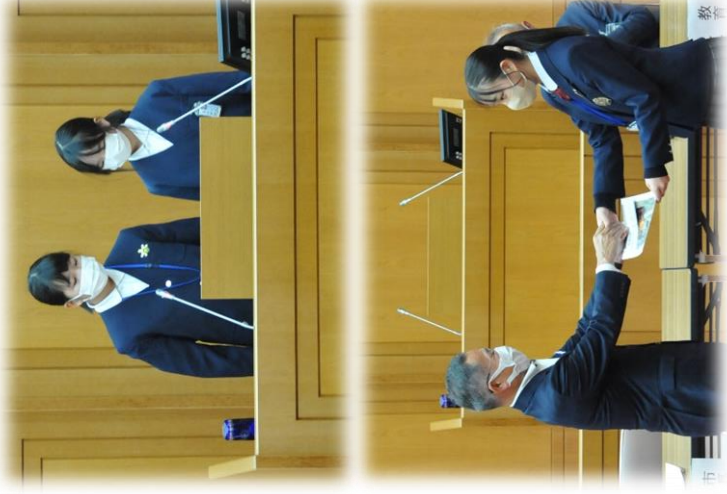
待ちに待った本会議は、学校とはちがう独特の雰囲気があり、とても緊張しました。ですが、リハーサルの時よりは、はきはきと喋ることが出来ました。学習と練習した力を十分に発揮出来たと思います。

解散式では、全員が力を出し切ってほっとしている様子でした。よい経験になったので、是非来年も参加したいです。また、学校などの他の場でもつけた力を活用して、繋げていきたいです。(尾熊)



解散式

本会議終了後、解散式を行いました。教育長から講評をいただいた後、市長から星山議長へ記念品が贈呈されました。その後、馬場副議長からの挨拶をいただきました。



福山市子ども議会が10月23日に行われました。5年生は、初めての本会議だったので「上手に話せるかな?」、「立つ位置を覚えられるかな?」と声がある中で、リハーサルを行い、本番ではみんなそれぞれが発揮出来て良かったと思います。

市長や教育長が答えた答弁も、みんな、姿勢を正して聞くことが出来ていました。

議会議場の議場で、みんなとコミュニケーションを取りながら、あまり入ることの出来ない議場に入ることが出来たので、とてもいい経験になったと思います。

これから先ずっと福山市民として、市長や教育長からいただいた答弁を忘れることなく、いろいろな所から思い出し、実行していきたいです。(高橋)



今回、子ども議員の皆さんが経験した、「学校の垣根を超えたチャレンジ」は必ず、これからの糧となると思います。これからも、そのチャレンジ精神を忘れることなく、たくさんの経験を積んで、次世代を担う人材になってほしいと願います。最後に、本会議までサポートしてくださった、高校生サポーター・保護者を始めとする各関係者の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。(戸田)

「チャレンジ」

福山市立城南中学校3年 石田 彩寧

短い間でしたが、ありがとうございました。今回の子ども議会ではいろいろなことにチャレンジさせていただきました。

まず一つ目は、議長に立候補した事です。結果は残念でしたが、「公約を言っている姿、めっちゃかっこよかったよ!」と言われたので、チャレンジして良かったなと思っています。

二つ目は、委員長に任命されたという事です。委員会の中で最年長ということもありますが少し気になっていた役割だったので「やってみたいです。」と立候補しました。議長決めの後だったので余計に緊張したけど、委員長の仕事は、人の意見をまとめたり、意見を引き出すことだったのでとてもやりがいがあってチャレンジして良かったです!

三つ目は、本会議の時の役割決めです。みんな一つずつ言う所を持つと一つ残ってしまい、自分の今持っている文を覚えるのですら難しいと、誰もやりたがりませんでした。そこで、「委員長は?」と言われ、その時は正直、めちゃくちゃ嫌だったけれど、「任されたからには全力でやるぞ。」と自分に言いきかせて練習し、本番を迎えました。本番は緊張して原稿を見てしまうことがあったけど、普通の人の二倍喋ることが出来たと思うと、達成感が凄くて、気持ち良かったです。それに、出番が二回あったおかげで(?), 新聞にも載ることが出来ました。役割決めの時に、「嫌だ」とか言っていた自分が嘘のように、めちゃくちゃ楽しむことができました。

今回のチャレンジは、最終的には「やって良かった!」, 「チャレンジして良かった!」となっているので本当に良かったです。

短い間でしたが、皆さん、ありがとうございました。

「経験」

広島大学附属福山中学校3年 馬場 洸希

私の子ども議会を一言で表すと「疲れた」です。

議会は慣れない場で、副議長というプレッシャーがありながらの約七時間はとても疲れました。

しかし、普段絶対に入れない議場や議長・副議長席に座れたことは、とても貴重な体験になりました。

この体験が活かせるかは分かりませんが、これからも頑張りたいと思います。

「子ども議員を通して」

盈進中学校3年 星山 葉月

小学校五年生の時、担任の先生に勧められて、初めて子ども議会に参加しました。初めは、年上の人ばかりでとても緊張していましたが、学習会を重ねていくうち、班のメンバーと仲も深まり討議することの楽しさを感じました。本会議を迎えるころには、子ども議会の虜になっており、それ以来毎年参加してきました。

今年は昨年を引き続き、子ども議長を務めさせていただきました。小学五年生の時からずっとやりたいと思っていた議長という役目を最後にもう一度出来ることが嬉しくてたまりませんでした。

事前学習会から本会議まで、「みんなが話しやすい環境」を作るため、班での話し合いでは少人数だけが喋ることが無いよう、みんなに意見を聞いたり、班のメンバーではない人とも率先して会話をするように心掛けました。

この五年間、子ども議員、子ども議会宣言策定委員、そして議長を通して、「福山」の魅力的な所を沢山知ることが出来ました。また、力を合わせ一つのことに取り組むことの大変さや楽しさ、そして達成感を感じることが出来、私自身とても成長できたのではないかと感じます。

来年は、高校生サポーターとして今までとは違う形で子ども議会に関わりたいと思います。

子ども議会開催にあたり、準備してくださった全ての皆さま、子ども議員の皆さま、本当にありがとうございました。

「未来の福山市を考える」

福山市立松永中学校3年 本多 春翔

今回、私が子ども議会に参加した理由は、将来、福山市議場に立って、福山市をより良く活性化させたいと思ったからです。

私は今の福山市に対しての不満はあまりないです。しかし、未来の福山市に対しては不安や、「もっとこうすれば」と思うことが出てくるかもしれないと思っています。なぜなら今、日本は少子高齢化が進み、人口が減ったり、若者が都市へ住み移ったりしているからです。私は福山市も例外ではないと思っています。いずれ福山ももっと少子高齢化が進み、今よりもっと多くの問題が出てくるかもしれないと思います。私はその多くの問題が出てくるのは、私たちが大人になって、有権者になってからだと思っています。その頃には私も福山市を背負っていかなければならないと思っています。その時に私は、誰かに任せるのではなく、

自分が実際に動かないと！と思ったのでその第一歩として今回、子ども議会に参加しました。

私は今回子ども議会に参加して、実際のデータを見て、福山の現状を知ることが出来て良かったです。また、他の議員の意見や、福山についての考えを聞くことが出来て、自分の考えを深めることが出来たし、これからの福山を考えるきっかけになったと思います。

「私達の住む福山市」

広島大学附属三原中学校1年 岡川 莉央

私は、今回の子ども議会で二回目の参加となりました。去年とは全く別のテーマの安心・安全なまちづくりについてでしたが、去年の過程を思い出し、去年よりもいい発表をしたい、と思いながら参加しました。

事前学習会では、福山市の工業などについて詳しい方や、日東製網さんのお話を聞かせていただきました。自分の身近にあるものの話ではないものが多く、少し難しく感じられましたが、分かりやすく丁寧にお話してくださったので、とても聞きやすかったです。お話の中では、私達のテーマに関わる事についてはお話しされていませんでしたが、福山市の魅力について知ることが出来たので良かったです。

他にも、事前学習会では、私達が住んでいる福山市にはどのような問題点があるのか、どのように改善すれば良いのかを考えました。普段の生活の細かいところまで思い出し、委員会で話し合うことが出来ました。今までの経験が人それぞれなので、まとめるのは至難の業でしたが、どの例がみんなに分かりやすいかなども踏まえながらまとめていきました。

本会議では、各委員会がそれぞれのテーマに沿って考え、まとめたものを発表しました。市長さんや教育長さんが、私達の意見を受けて、答弁を一つ一つ丁寧に返してくださっているのを見ると、私達の意見で福山市をより良くすることが出来るんだと実感しました。

子ども議会を開催するにあたって、準備をしてくださったり、支えてくださったりした皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。私は、子ども議会があったからこそ、福山市により興味を持ち、より良くしていこうという思いが出てきたんだと思います。これから私は、将来この福山市を担っていくことを意識して、福山市について考えていきます。

「子ども議会を経験して」

福山暁の星女子中学校1年 坂田 葵衣

私は、今回の子ども議会を経験して、学年を越えて意見を交わしたり活動することで、いろんな角度から物事を見たり考えることが大切であると改めて気付きました。

普段の生活では、あまり学年を越えた活動をする機会がなく限られた範囲や同学年同士の意見しか共有することができないということがありました。しかし、今回のことを通して、たくさんの方向から、自分と違う考えの人と意見交換をすることで、今まで見えなかった新しい考え方や発見などが生まれてより良いものを作り上げることが出来ると実感しました。

今後は、日々の学習の中でいろんな人と考え方や意見を共有して、新たな発見や物事を築いていきたいです。

「福山市子ども議会を体験して」

福山暁の星女子中学校1年 永戸 あみ

私は、福山市子ども議会に参加してみて、いろいろな事に気付かされました。私は福山市子ども議会に参加するまで正直福山市には関心がありませんでした。でも、自分たちで調べて現状を知ってこんな福山になったら良いなと話し合いをしていくうちに福山市に興味を持ちました。

本会議では、自分の番がどんどん近づいてくるととても緊張して不安な気持ちでいっぱいだったけど、最後までやりきることが出来ました。市長さんが答弁をしてくださる時にわざわざポスターみたいなのを用意してくれてすごいなと思いました。

私は子ども議会に参加して、他校の人とも話すことが出来たり、議場で発言したりなど、とても貴重な経験をする事が出来ました。この経験を学校など他の事にも活かしていきたいです。

「子ども議会に参加して」

福山市立幸千中学校 1年 筒井 りりか

私が今回の子ども議会に参加して、感じたこと、学んだことが二つあります。

一つ目は、意見をまとめること、コミュニケーションをとることの難しさです。委員会で、誰も委員長に立候補せず、学年的に私が委員長になりました。まだ二年目で、まとめることや、自分から発言することが苦手なので、あまり自信はなく、不安でいっぱいでした。ある時、話をまとめられなくて困り、黙っていた時に高校生サポーターの方が助け船を出してくれて、話し合いがスムーズに進みました。高校生サポーターの方には感謝し、尊敬しています。来年も参加することが出来れば、高校生サポーターの方のように、話し合いをスムーズに行うことが出来ればと思います。

二つ目は、話し合いや議論の楽しさです。普段、学校等のグループ活動をするとき、自分のことに夢中で、話し合いに参加してくれないことが多いです。でも、子ども議会に参加すると、全員が集中して話し合いをし、意見を出し合う……。このような子ども議会は素晴らしいなと思いました。

子ども議会で学んだことを学校生活や日常につなげていきたいと思いました。本当にありがとうございました。

「子ども議会を通して」

福山市立城北中学校 1年 新田 暁

僕は、小学校5年生から子ども議会に参加し、今年で3回目となります。子ども議会には、いくつかの魅力があります。まず一つは、色々な学校や学年の仲間と出会え、一緒に同じテーマについて取り組めるということです。コロナ禍の影響もあって、普段の生活では、違う学校の人や年齢の違う人と活動する機会は、あまりありません。そのため、初めて子ども議会に参加した時は、自分の考えを相手に上手に伝えられない事がありました。しかし、次第に積極的に自分から発言したり、提案したりすることが出来るようになりました。そして、自分たちの考えを議案書としてまとめ、議場で報告することは、大きな自信となり、達成感を感じる事が出来ました。

二つ目の魅力は、福山の事を幅広く、そして深く知る事が出来るという事です。事前学習会では、市役所の方々から、福山市のまちづくりについて、いろいろと教えて頂き、多くの人達が福山市のために活動していることを学びました。また、特別講座ではオンリーワン・ナンバーワン企業の方から、貴重なお話を沢山教え

て頂き、世界のことなど幅広く知ることが出来ました。そして、子ども議会に参加する度に福山についていろいろと考えるようになりました。「福山がもっと素晴らしい街になればいいな」、「他の街の人が住みたいと思うようになったら良いな」と思う気持ちが強くなりました。子ども議会では、僕たちが出来る事は何かをみんなで話し合い、たくさんの意見を出すことが出来ました。子ども議会に参加することで、僕は前よりずっと福山の事が好きになりました。今回の子ども議会では、僕は「福山知名度 No.1 になっちゃろーや委員会」で活動しました。その中で、映えスポットを市内に作り、SNS 投稿を通して福山の魅力を発信するというアイデアが生まれました。出来ればこの映えスポットを広げていく活動を進め、これからも福山の街づくりのお手伝いをしたいと思っています。

「初めての経験をした子ども議会」

福山市立駅家南中学校 1年 本山 穂乃花

私は、子ども議会をするのが初めてでした。だから、最初はすごく不安でドキドキでした。でも、三年生の方が「みんなと仲良くなりたいと思います。」などと、すごく頼もしいことをおっしゃっていたので少し安心しました。

私は第三委員会という環境を良くするところになりました。応募した時のやりたいこととは違ったけど、たくさん、良くするためのものがあったって頑張りたいと思いました。そして、同じ委員会に同級生がいたので仲良くなれました。また、年下の小学生の子も話しかけてくれたりして、嬉しかったです。

本番の議会では朝早くからリハーサルをして備えました。そして、お客さんや市長さんたちが入ってきて、ワクワクしました。本番は噛むことなく、ゆっくり前を向きながら話せたと思うので良かったです。市長さんにも、答弁して頂けて、とてもいい経験をしたなと思いました。

今回の経験を活かして、学校生活などで、積極的に発言するなど、頑張りたいと思います。このような貴重な経験ができて良かったです。ありがとうございました。

「子ども議会で学んだこと」

福山市立加茂中学校1年 山本 光志朗

ぼくがこの子ども議会で学んだことは主に2つあります。

一つ目は、仲間と協力することの大切さです。ぼくは、子ども議会はこれでも今回で三回目です。少しは慣れることができましたが、やはり毎回感じます。この子ども議会は、違う学校の子どもたちが、それぞれ意見を出し合い、それぞれの意見を尊重することで成り立つことで出来上がっているとぼくは思っています。そして、それぞれの意見がまとまった案を出すことで、仲間と協力し合い、提案や質問をしています。ぼくはその大切さを学ぶことができました。このようなことが学べるのは、子ども議会の他校の生徒との交流できるなかなかない体験のおかげです。

二つ目は、福山を思う気持ちです。この子ども議会では様々な、福山をより良くしたいと思う気持ちで溢れています。ぼくもそう思っていますが、またちがう考えでより良くしようとする方がたくさんいます。たとえば、最近福山に来た人がいました。その人の考えは、普段住んでいる人ではあまり気に留めないような疑問なので、そんな考えもあるのかと考えさせられました。

他にも、この子ども議会では、さまざまなことを学ぶことが出来ました。本当にこのような体験をさせてくださりありがとうございました。

「子ども議会を通して」

福山市立宜山小学校6年 黒田 倅奈

私は子ども議会を通して多くの事を学びました。共に案を出し合い協力した同じ委員会の仲間、私達をサポートしてくれた高校生サポーターの方、そして何より子ども議会を開催して下さった市役所の方々に本当に感謝しています。

第一回の認定式では市長、教育長などと顔を合わせることが出来、貴重な体験でした。認定式の最中はとても緊張しました。でも、委員会の人達と顔を合わせた時は皆が自分を受け入れてくれたのがとても嬉しかったです。また、自分より年上の中学生の人がとても優しく、信頼できたので、初めての子ども議会でしたがとても安心しました。

第二回の事前学習会では、担当課の方に観光客を増やすために行っている取り組みについて聞きました。福山市には魅力が沢山あるのにあまり知られていないと知りました。

福山の魅力を多くの人に知ってもらうために、について考えるきっかけにな

りました。

第三回事前学習会では前回からのテーマについて話し合いました。「リピート」に重点を置いて繰り返し行きたくなる福山にするために意見を出しました。

特別講座では、日東製網がほこる網作りについて動画で学習しました。一つの網を作るだけでも、たくさんの人の手間と時間をかけていていねいに作られていると知りました。そして、私達が食べている魚類を獲る時の網にも工夫がほどこされているから魚が傷つかずに市場へ運ばれてくるのだと分かりました。日本人が魚を食べる量は減っているのだから、積極的に食べようと思います。

議会当日、議場を見た時にとっても力がわいてきたような気がしました。リハーサルでは自分が発言する場所を何度も練習しました。本番、少し間違えてしまった所もあったけど、周りの人達が気にしなくていいよ、大丈夫だよと言ってくれたので安心しました。来年も子ども議会にチャレンジしたいと思うことが出来ました。

「子ども議会を経験して」

福山市立新涯小学校6年 桑田 直希

ぼくは、去年に引き続き二回目の参加となりました。環境の委員会でした。

本会議が終わった後、自分にできることはないか考えました。

そこで、着れなくなった服を学校に持っていき、着れる人に持って帰るというのを考えました。

小さくなってしまった服を自由に学校に持ってこれるようにして、参観日などの時に廊下に並べて置き、自由に持って帰れるようにするものです。

この取り組みをすることにより、捨てる服を捨てなくてよいので、ごみが減ると思います。

これからも、子ども議会に参加して自分が考えたことを提案したいです。

ありがとうございました。

「たくさんのか」

福山暁の星小学校6年 小池 和奏

私は、今回初めて子ども議員に応募しました。初めてで少し不安だったけど同じグループのお姉さんたちが分からないところをていねいに教えてくれました。私は事前学習会の質問書をつくるときに休んでしまいました。本番の時に副委員長の人が私が休んでいて本番の流れがよく分からない私に、リハーサルの時にこまかいところをていねいに教えてくれたり委員長のお姉さんは、どこを見て発表したらいいのかやおじぎをするときのポイントなどを教えてくれたりしました。本番では、私は、悪いところを言う係でした。家でも毎日練習してきたので、本番の時に、大きめの声で、自分の担当のところをいうことが出来たと思います。

私は今回の子ども議員で、たくさんのが身に付けることができました。この身に付けたことを活かしていきたいです。

「子ども議会で経験したこと」

福山市立駅家北小学校6年 西村 梨央

私は、子ども議会に参加し、事前学習会・本会議を通してたくさんを経験しました。

本会議の前に4回行われた事前学習会。私は「笑顔と希望があふれるまちづくり委員会」のメンバーとして活動しました。福山市のまちづくりについて、まちづくり推進部の方から、いろいろなことを教えてもらいました。その中で、「福山みらい創造ビジョン」や「ふくやま未来づくり100人委員会」というどんな人でも過ごしやすい、暮らしやすい未来の福山にしようという活動があることを知りました。そのような活動があるということを知り、自分たち一人一人が疑問を持つことができました。さらに、どんなことをすれば、理想の福山市になるのか、一人一人意見を出しました。そうすることで、自分の考えが深まり、最初の考えよりくわしい提案書・質問書が出来たと思います。

本会議は、議場で行われました。初めての議場でとても緊張しました。本会議の前に何度かリハーサルが行われました。私はリハーサルのときに何度か噛んでしまいました。リハーサルが終わり、私は、「本番で噛まずに言えるかな。自分が言いたいことが言えるかな」と心配になっていました。そんなときに、同じ委員会の子が、「だいじょうぶよ。」と声をかけてくれてとても安心しました。本会議では、ときどき前を見ながら発表することができました。議場にいたすべて

の人に言いたいことが伝えられたかと思います。

子ども議会に参加したことで、福山のまちづくりについて学んだり、議場に行ったりたくさん経験をしました。子ども議会に来年も参加したいです。そして、子ども議会での経験を日常生活に活かしていきたいです。

「暮らしと行政」

福山市立新涯小学校 6年 湯浅 瑛太

何気なく暮らしている日常のあらゆること一つ一つが、福山市や広島県、国といった行政機関であったり、近所のスーパーマーケットやお店などの民間企業であったり、町内会や子ども会といった地域の団体であったり、市民やボランティアの方といった誰かに関り、支えられ、成り立っていることが分かりました。

朝起きてから寝るまでの私自身の生活を考えてみても、水道をひねれば水が出てくること、トイレに行けること、朝ごはんが食べられること、家の近くに学校があること、給食を食べられること、教室があり、教えてくれる先生がいること、様々な人やモノに支えられて生活ができているのだと分かりました。そして、私もその社会の一員だという自覚がめばえしました。

子ども議会では、身近なことに関心や問題意識を持ち、暮らしの中の一つ一つの事柄やサービスが行政において、どのように考えられ、必要性や方法を検討し、予算を付け実施されているのかを、最も身近な福山市の行政から学ぶことができました。

学校でも、友達の意見も自分の意見も大切に、よりよい学校、よりよい地域を自分から作っていきたいと思いました。

「初めての子ども議会で感じたこと」

福山市立宜山小学校 6年 湯谷 聡太

ぼくは、今年初めて子ども議員に参加しました。参加させていただく前までは福山の市政に対して、あまり興味を持っておらず、先生がさそってくれた際は自信がありませんでした。しかし、自分の意見を採用していただいて少しだけ自信がつかしました。

七月から、本格的に始まった質問書製作では、前日書いた自分の意見をもとに、同じ委員会のみなさんと話し合いました。積極的に意見を言えなかったことにとっても後悔しています。それでも、高校生サポーターや市役所の方々に多くの支

えや意見をいただいたことで少しずつまとまっていきました。

何回も行ってきた質問書製作が終わり議会当日。リハーサルでは、本物の議場でどのように動いていくのか確認をしました。不安の気持ちでいっぱいだったけど、まちがえたところを優しく教えていただいて、どんな動きをすればよいのかを覚えることができました。

午後から始まった本会議。多くの観客、先生、市長や市役所で働いている方々などが入ってきました。緊張感でいっぱいだったけど、リハーサルを思い出して行いました。ぼくが本会議で一番緊張したのは市長やまちづくり推進部長の方からご答弁をいただくときです。自分の委員会を代表してだったので、自信を持って発表しようと思いました。

ぼくは、この子ども議員を通して、市政について関心が持てました。このことを将来の福山市、自分へ活かそうと思えたとし、参加した感想をみんなへ伝え、やってみたいと思える人を増やしていきたいなと思いました。来年も機会があったら参加したいと思います。

「少しの期間の私の成長」

福山市立樹徳小学校5年 岡川 栞奈

私は子ども議会を通じて「福山市」を大切にしたいという気持ちを持ち、福山市の環境について知り、守っていく大切さを感じました。

日東製網さんの特別講座では「網」という私達子どもにとって身近なものではないものについて学びました。福山の歴史的な網や使いやすい網、魚が取りやすい網を作るための努力、進歩など会社のいろいろな説明や福山市の伝統をお話ししてくださいました。その話を聞いていくと、昔の福山市があったから、福山市に住んで働いてくださった人たちがいたから、今の福山市があるんだと感じました。そして福山市についての興味がさらに湧いていきました。今の福山市について調べてみると、環境についての問題がびっしりありました。これでは私達の福山市が環境であふれてしまうと考え、「環境問題がない福山市」を目標にしました。事前学習会で同じ班のみんなと調べたこと・学んできたことをつなげていき、百年後、二百年後にはこの目標を達成してほしいという願いを込めて本会議に臨むことができました。本会議では市長さんに良いご答弁をいただきました。今後私達の努力で福山市が変わっていけばいいと思っています。

学年、学校もちがう人と関わり、最終的に一つのものを作り上げていくことはとても大変だと思います。でも人見知りだった私が、このように活動し、成長す

ることができたのは班のみんなの支えがあったからだと思います。

今まで関わってくださった高校生サポーターの方、子ども議会を実行してくださった皆様、そして何より一緒に考え発表してくれた班のみんな、本当にありがとうございました。

「子ども議会を通して得たこと」

福山市立宜山小学校5年 岡本 育万

僕は子ども議会で学んだことがあります。

それは自信を持つことです。なぜなら自信を持つことは子ども議会にとっても重要なことだからです。

僕は第一委員会でした。この経験はとてもできないと思って取り組みました。初対面のだいたい同じ思いを持つ人達と話し合い、今の福山市に必要な取り組みを自信を持って同じ委員会の人に言ったり、会議で言ったりしました。自信がないと言えないし、そもそも自信がないと参加もできませんでした。そんな中、参加した自分がほこらしく思います。

他に議会で責任も感じたりもしました。

「宿題がある。代表で出ている。」など沢山責任を感じる事ができました。そう考えると、議長の人はずっと感じていると思いました。自分も責任は感じるのには慣れたと思い成長したと感じました。短い間で託された仕事を最後まで果たすこともできました。

僕は、俳優を目指しています。だから、もっと責任を感じたり、自信がもっと必要です。そのために他のことにも挑戦したいです。

「子ども議会を経験して」

福山市立手城小学校5年 尾熊 直子

私は今回の子ども議会を通して、主に人前で発表する力がついたと感じました。

私が子ども議会を知ったきっかけは、姉が一度応募したことがあるからです。残念ながら姉は議員になれませんでした。私自身も少し興味があったので、応募することにしました。

私は、事前学習会などで、福山のことについてたくさん知りました。たくさんの方々がより良いまちにするために、考え行動していることを学び、私もどうし

たら福山がよりよくなるかを、一生懸命考えました。

福山といえばバラというイメージですが、調べてみると他県にはあまりそれが知られていないことが、分かりました。それからは、どうすれば他県に「ばらのまち福山」をアピールできるか考えました。また子育てがしやすいまちにするための対策も考えました。

私は、子ども議会を経験して、人前で発表する力を得ることができました。この力を、子ども議会だけではなく、学校などの他の場でも活用していきたいと考えています。

子ども議会のよいところは、他校の友達ができるところや福山について、たくさん知れることだと感じました。とても楽しかったので、ぜひ来年も参加したいと思いました。

「初めての子ども議員」

福山市立加茂小学校5年 佐藤 夢希

私は第1回・第2回の子ども議会にはお家の急用ができていけませんでしたが、3回目の学習会で初めて子ども議員として、勉強会に参加することができました。

途中参加になったので分からないことがいっぱいあって、みんなの話についていけなくてすごく不安になっていたけど、次の学習会になって初めて友達ができました。

その子がわからない所を必死に教えてくれました。

他の子ども議員のみんなもいろいろ教えてくれて優しく話しかけてくれて助けてくれました。私は、子ども議員に立候補して、議員になっていなかったら優しい仲間と出会えていなかったと思います。

それと発表や質問をしている時に、教育長さんや市長さんが、真剣に、目だけでなく、体も動かして、質問を聞いてくれていたのがすごく嬉しくて、とてもやりがいを感じました。また機会があったらぜひ参加させてもらいたいです。

「子ども議会を通して」

福山市立遺芳丘小学校5年 高橋 愛

7月9日の認定書交付式から始まり私はこの子ども議会を通してたくさんの事を学び、たくさんの事を経験し、たくさんの友達と交流を深めることが出来て素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。

それぞれ委員会に分かれてテーマにそって学習しました。私は第四委員会でテーマは「笑顔と希望が溢れるまちづくり委員会」でした。

みんなと意見を出し合い、私達が住んでいる福山市をどのようにすれば笑顔と希望が溢れる街になるのかをみんなで話し合い考えました。私は正直もっと話し合う時間があれば良いと思いました。昔の福山の未来図と今の福山市を比べて、過去と現在の大きな違いをたくさん知る事が出来ました。

私はこの学習を通して十年後、二十年後、三十年後の福山市をより良い街にするためには、私達福山市民がもっともっと一人ひとりが関心を持つ事が大切だと思いました。

初めて行った議場では、枝広市長や三好教育長、また他の市議会議員の方々に会うことが出来、市長と答弁が出来て良い思い出となりました。

最後に、この子ども議会で出会えたたくさんの友達の事です。初めて会った日は、とても緊張して話すことが出来なかったけど、10月23日の最後の日にはみんなで楽しく話すことが出来てうれしかったです。

私はこの経験を通していろいろな事を学び、本当に良かったと思います。この学んだ事を学校生活に活かし、これからの私の人生に生かせる事が出来たら良いと思います。

来年も子ども議会に参加出来たら良いと思います。

ありがとうございました。

「子ども議会を通して成長したこと」

福山市立竹尋小学校5年 中田 絢乃

わたしが、子ども議会に参加しようと思ったきっかけは、今年、福山城築城400年という記念すべき年で、福山城そして福山の歴史について調べてみようと思っていた時でした。小学校から配布された案内を見て、環境問題の生ごみや自動車から出る二酸化炭素のことに以前から関心があったため是非、子ども議員として、我が福山市のことについて学び、考えてみようと呼募をしました。

わたしの委員会は、「ごみ削減で地球にやさしく」をテーマにした環境グルー

ブです。福山市の現状を深く考えて、よりよい福山市にするために、ごみをポイ捨てしない・させない環境づくりのための解決案を自分なりに考えることができました。グループ内では、各々の考えを発表し、それぞれの考えをくみ入れて提案の方向性を決めることが一番大切であったように思います。沢山の意見が出たからこそ、色々な面から環境について考えを深めて学ぶことができました。

子ども議会の本会議では、普段入ることの出来ない議場に入り、議員席に座り大変緊張しましたが、今まで学習をしてきたことを大きな声でしっかりと発表することが出来ました。この貴重な経験は、必ず大きな自信につながると思います。

子ども議会の活動を通して、わたしは、福山市の取り組みを知り・理解し、福山市を更に魅力あふれる町にするため、一人ひとりができることはないのか真剣に考えることができました。そして、ここで得た学びや経験は今回の活動で終わることなく、これからの学校生活や社会生活につなげていきたいとします。また、わたしが生まれ育った福山をいつまでも大切にし、思いやりをもった人に成長していきたいです。

ありがとうございました。

「福山市子ども議会に参加して」

福山市立東小学校5年 平松 紗英

私が、福山市子ども議会に参加して感じたことは、3つあって、1つ目が、福山市の魅力について知ったことです。最初は「福山って何があるんだろう」と思っていたけど、バラの種類が11種類あったり、バラは春のイメージがあるけど、実は秋にも力を入れていたり、福山で世界バラ会議が行われることについて知ることができました。

2つ目は、議場で市長に提案できたことです。福山市長に提案できることはめったにないので、自分たちが思う理想の福山市や、もっとこんなふうにしたら福山が良くなるのでは？という意見を提案できたことがうれしかったです。

3つ目は、学校の先生や家族が見に来てくれたことです。子ども議会を見に来てくれたお母さんに、「よかったね」と言われたり、配信で見てくれたお兄ちゃんも「すごいね〜」って言ってくれたのがうれしかったです。子ども議会に入っただけで感じたこと、知ったことは、たくさんあるので、来年も出来たら良いなと思いました。

「子ども議会を通して良かったこと」

福山市立東小学校5年 藤井 咲衣

私が子ども議会を通して良かったことは四つあります。

一つ目は、他の学校の人と交流が出来たことです。話し合う時や絵を描く時にコミュニケーションをとることが出来たことです。私は、学校で友達とコミュニケーションをとるのが苦手だったけど、自分から話しかけるようになりました。

二つ目は、福山市をよりよくするための意見をたくさん知ることができたことです。それぞれのテーマで話し合った意見を聞くことができました。市長の答弁も聞くことができました。私は、ごみ問題のテーマでしたが清掃活動やイベントに参加してみたいと思いました。

三つ目は、議場に行けたことです。議場に行ったのは初めてだったから、とても緊張したけど、とても良い経験になりました。

四つ目は、市長に質問や提案ができたことです。初めての本会議で、すごく緊張しました。

「学校と子ども議会」

福山市立千田小学校5年 藤井 雄大

ぼくは、この初めての子ども議会を通して、とても自分の意見を言えるようになったと思います。理由は、ぼくは学校ではあまり自分の意見を言わないけど、子ども議会に入って他校の人とも交流ができる機会が増え、そして学校でもいろいろな意見を言えるようになりました。ぼくは、今年の子ども議会に入れて本当に良かったと思っています。また来年もできたら入りたいです。そして、今年の高校生サポーターの人たちも最後の事前学習会で、いろいろアドバイスやはげましの言葉をくれて、みんなが当日の休憩中にいろいろ話していて、会ったばかりの時は、こんなじゃなかったのに、今はこんなに仲が深まっているということに気づき、皆これまで会ったこともない人でも、ずーっと関わってれば、その内みんな仲良くなれて、気付いたら友達になるというところまで来ているのに、そんなことは考えずに喋っているみんなが不思議に見えて、これから先もどんどん知らない人に会って行って、そこから友達になるということを考えるとすごく不思議に思いました。また来年も応募します。

「改めて考えることのむずかしさ」

福山暁の星小学校 5年 山本 神楽

私達は今回の福山市子ども議会で、「学校で考えたいこと」というテーマをもらいました。テーマを理解して、何について考えるかを決めることに、とても時間がかかりました。なぜなら私達は、住む場所もちがうし、学校もちがうし、通っている学校もちがうので考え方もバラバラでお互いを理解して、考え方を合わせて一つのテーマにしぼらなければならなかったからです。

私の通う学校は、先生から与えられたテーマを説明されてそこからみんなで話し合っ物事を決めることが多いです。しかし、具体的な事を決める経験が少なかったため、どのようなアイデアを出せばいいのか、どのような手順で決めればいいのか分からず苦労しました。このことは私だけではなく、グループのみんなもそうだったと思います。最初の学習会では、みんなが「分からない」と言っていたことがその理由です。

一つのことを決めるのに、お互いの意見を発表し合い、事実確認もし、みんなの意見をすり合わせてまとめるという作業を何度も繰り返しました。これが物事の考え方だと改めて理解しました。

私達はまだ幼いから、相手の意見も聞き入れて、自分の考えに活かすことが難しいです。しかしこれからは、ディスカッションや、ディベートの機会に参加して、考える能力を身につけていきたいなと思いました。今回はそれに気付けるテーマをもらってよかったです。

私は、日頃あまり物事を深く考えず、生活をしているようです。当たり前のことでも当たり前の事じゃなく、「どうしてそうなるの?」と考えながら生活することでこれから気付くことが増えると思います。来年も子ども議会に参加して、この気付きを活かしていけたらいいなと思っています。

「私が子ども議会で学んだこと」

鞆の浦学園 5年 山川 寿都

私が子ども議会に応募しようと思ったきっかけは、私の身の回りにいる犬や猫などの命を大切にすることを訴えるためでした。

しかし子ども議会の話し合いの中で、私のグループは芦田川をきれいに保つことに決まりました。私は最初、自分の思いを伝えることができなくなるのではないかと悲しい気持ちになりましたが、勇気を出して思いを伝えることで、グループが決めたテーマの中で私が一番伝えたかった生き物の命を大切にすること

について私なりの意見を発言することができました。

そしてまた、レポートやポスターを作成することで、みんなで協力する力がより身についたと思いました。初めて会うメンバーでしたが、事前学習会を通して信頼が深まり新しい仲間が増えました。みんなと交流を深めることで人見知りを克服することができました。

私はこの子ども議会で、本物の議場で圧倒されながらも、勇気を出して発言したり、自分の意見を公の場で発表するなど、とても貴重な経験が出来たと思います。

将来、大勢の人達に向けて自分の思いを伝えるときの力になると思います。

サポートしてくださった皆様、ありがとうございました。

「子ども議会を経験して」

福山市立戸手小学校 5年 檀田 善海

ぼくは、「子ども議会」に参加して良かったと思います。

なぜかという、初めて来た時は、不安や心配で、「本当にぼくでいいのかな。」と思っていましたが、みなさんがとても優しく接してくださってくれて、終わった時に、次回がとても楽しみになりました。

本番の時は、とても緊張しましたが、リハーサルの時に様々な方が指導してくださってとても安心しました。会場の議場は、初めて入る場所でとてもワクワクしました。記念品はどれもステキな物ばかりで、使いたくても使えないような物ばかりでとてもうれしかったです。

初めての参加でしたが本当に楽しかったです。今までささえてくださった皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

「子ども議会」の運営にあたり、次の皆様に多大な御理解、御協力をいただきました。

○特別講座講師

金濱 弘一郎 様（日東製網株式会社 人事総務部 人事課 課長）

○ 高校生サポーター

足立 美咲さん（広島県立福山誠之館高等学校）

新田 晟さん（広島県立福山誠之館高等学校）

延廣 晃大さん（広島県立福山誠之館高等学校）

原田 一加さん（岡山県立井原高等学校）

松本 拓真さん（広島県立神辺旭高等学校）

山本 憲誠さん（広島県立福山誠之館高等学校）

○ 事前学習会講師，関係課

企画財政局 企画政策部 企画政策課

経済環境局 経済部 経済総務課

経済環境局 文化観光振興部 観光課

経済環境局 環境部 環境総務課

市民局 まちづくり推進部 まちづくり推進課

市民局 市民部 市民生活課

建設局 土木部 道路整備課

教育委員会 学校教育部 学びづくり課

議会事務局 庶務課

議会事務局 議事調査課

あしがき

— 子どもたちに福山について知ってもらい、福山のことをもっと好きになってもらいたい。そして、ふるさと福山に愛着と誇りを持ってほしい —

そんな願いから、福山市では、次代を担う子どものまちづくりへの参画を推進するため、2009年度（平成21年度）から「福山市子ども議会」を開催してきました。

以来14回目となる本年度まで、多くの子どもたちが子ども議会に参加し、子どもの立場から市政に対する質問や提案をしてくれました。

新型コロナウイルス感染症の影響で不安が続く中の開催でありましたが、子ども議員の皆さんは真夏の猛暑にも負けず、事前学習会に元気な姿で参加し、本会議に向けて意欲的に取り組んでくれました。

この報告書は「2022年度（令和4年度）福山市子ども議会」のあゆみを振り返り、子どもたちのまちづくりへの参画を促す機会になればと作成いたしました。

福山市のすべての子どもたちの未来が、素晴らしい出会いと希望に満ちたものとなることを願い、お届けします。

2023年（令和5年）3月

福山市 市民局まちづくり推進部

青少年・女性活躍推進課 職員一同

「2022年度（令和4年度）福山市子ども議会 報告・感想文集」

2023年（令和5年）3月

編集・発行 福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

〒720-0831

広島県福山市草戸五丁目1 2番3号

(084) 928-1046